

SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2009~2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS ロータリーの未来はあなたの手の中に

クラブ会長基本テーマ「笑顔で奉仕 楽しい仲間作り」 会長 山梨一正
副会長 西原克甫 幹事 中山和雄

事務所 三島市大社町17-4
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352
<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

第963回 例会 2009.8.7 (金) 晴れ

司会:石井邦夫君 指揮:土屋巧君
ロータリーソング「奉仕の理想」

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ
会長 山梨一正君



皆様、こんばんは。

今日は会員組織委員会の企画で、各会員が1名以上のゲストをお招きしての80人例会となりました。ゲストの皆様、また浜名湖ロータリークラブの副会長：会員増強委員長八木様にも、おいでいただき誠にありがとうございます。

皆様にはロータリークラブという組織を少し理解していただき、そして例会の雰囲気を楽しんでいただければ幸いです。

ロータリークラブは1905年、アメリカはシカゴの弁護士ポールハリスの提唱により、4名の仲間が始まりました。

今では世界に120万人の会員を持つ大組織になりました。その基には創始者の方々の強烈な精神がロータリーの基本になっております。

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹しこれを育成する事にあります。

1. 奉仕の機会として知り合いを広める事
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高める事
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識をふかめること。
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務品位をあらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務にかかわる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する事。
が原点であります。

また、ロータリーとは何か。何千人のロータリアンに聞けば何千通りの答えが返ってくるだろう。考え方

は人によって違う。しかし、もし、ロータリーがより寛容でより他の人の良さを認め、より他の人と親しかかわり助け合うようになれるなら、そして人生の美しさと喜びを発散し伝えるように出来るならそれが、我々の求めるロータリーの全てだと思います。

今年度会長として、私が提唱する「笑顔で奉仕楽しい仲間作り」はまさにその精神だと思います。

今宵は笑顔で楽しい仲間との会話を体験していただければ幸いです。

幹事報告

幹事 中山和雄君

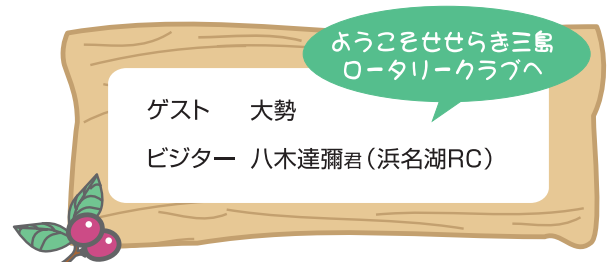
1. ガバナー事務所より地区大会の案内がきました。
期日は11月7日・8日です。出席義務者の方はよろしくお願いたします。近くになりましたら詳細はご連絡します。
2. 国際ロータリー日本事務局より、8月のロータリーレートは1ドル・94円と連絡が入りました。
3. 近隣クラブより例会変更の案内がきております。必要な方はお申し出下さい。
4. 本日の例会前に第3回理事役員会を開催いたしました。

出席報告

| | 出席総数 | 出席率 | メークアップ | 修正出席率 |
|-----|-------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 33/38 | 86.84% | 36/38 | 94.74% |
| 今回 | 32/38 | 84.21% | 会員総数 | 39名 |

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

遠藤君、片野君、金澤さん、杉山君、古屋君、望月君





スマイルボックス

八木達彌君:「体験例会」参考にさせていただきます。

大房正治君・古屋憲男君・山梨一正君:先日のJ中販連会長の「澤田稔君を祝う会」には多くの方に出席いただき、ありがとうございました。残金をスマイルします。

久保栄子君:7月中、お休みさせていただき申し訳ありませんでした。またよろしく願い申し上げます。

澤田稔君:先日の祝賀会、多数ご参加いただきましてありがとうございました。今後、業界の為に奉仕、貢献してまいります。

中山和雄君:山田会員組織委員長、宮澤、小林、新井委員の皆様、80名例会達成おめでとうございます。楽しい例会になりそうです。

山本章君:昨日は山口辰哉さんのおかげで、航空自衛隊浜松基地を見ることができました。大変楽しかったです。

次 | 回 | 卓 | 話 |

次回例会 (例会場・時間変更)

8月23日 (日)

夏の家族例会



第3回理事役員会議録

平成21年8月7日 (金) 17:30~18:10

出席者: 山梨一正、中山和雄、中村徹、西原克甫、大房正治、石井邦夫、山田定男、鈴木政則、渡邊照芳、米山晴敏、加藤正幸、岡良森、石井司人、内田憲一

記録者: 内田憲一

司会: 中山和雄

審議事項

- | | |
|----------------------|----|
| ① 認証ポイントの譲渡について | 承認 |
| ② 3年後の自分への手紙 | 承認 |
| ③ タイ自転車贈呈式の壮行会について | 承認 |
| ④ タイ自転車贈呈式次年度の予定について | 承認 |
| ⑤ 金澤さん、山上君、病欠出席免除の件 | 承認 |



浜名湖RC八木達彌君とバナー交換





第961回例会（7月24日）卓話

川村 壽子さん

仕事と私

仕事らしい仕事を始めたのは40歳になった頃です。それまで仕事など無縁の主婦でした。しかし、ある時、夫が傘下にした一般消費者向けガス設備会社のアドバイザー的な役割を軽い気持ちで引き受けたことが契機です。はじめはどんな広告宣伝に力を入れても会社の評判は芳しくなく、業績も伸びませんでした。そこで、毎朝朝礼から入社することにしました。当時、子供も小中学生で朝食からお弁当、主人の世話と超多忙な毎朝でした。しかし朝礼からでてみますと実体は手に取るように分かり、改善どころか目の前の社員教育からでした。その日から厳しさに徹し、社員には挨拶の仕方ひとつから身だしなみ、整理整頓に至るまで目を配り、私自身、こんなことまで、と思うと情けなくなることもありました。孤軍奮闘している頃、バブル経済が終焉に向かい、地味だが堅実な企業が見直される時代となり、当社も明るい兆しが見え始めました。次々と都市銀行との取引が増え、それがきっかけとなり仕事も一般から法人との取引に発展し、社員も質の高い人材や新卒の将来ある社員が入社してまいりました。ところが、受注先が企業となると工事代金は手形です。バブル後、数千万の手形が次々と不渡りになり、得意先は倒産し仕事は減少、食事がのどを通らないこともしばしばでした。しかし、止めることはできません。

今度は企業営業を自身ですることになりました。業界はすべて男性で、現場も業界も良くわからない女が単身男社会に乗り込むわけですから、はじめは足がすくみました。しかし、返ってその意外性が受け、取引先が増え、大手の顧客はほとんど私の開拓先でした。しかしその頃より、接待交際も増え、酒量も増し、午前様になることもしばしば。家野中に男の経営者が二人いるような状況になってしまいました。経営方針も少しずつ違い始め、互いに破綻する前の状態でした。打開策は私の引退しかないと考え辞任を決意しました。既にストレスの限界にあり、その後体調を崩し休養せざるを得ませんでした。

しかし、その頃からそれまでのんびり構えていた三島の仕事が徐々に多忙になり、数ヶ月の休みを経て三島に通う生活となりました。すると今度は次々と新たな試練が訪れ、組織の中とはまた違うストレスに見舞われました。組織体の中は人的なことも含め困難でもなんとか切り抜けられますが、個人商店の管理は大変で、何かあると休業しなくてはなりません。どうすることもできないのです。しかし、その都度、瀬戸際で何か大きな力が働き救われてきました。これはいつの時もそうでしたが、度々大きな感謝の念と安堵感につきます。以来、極限まで思いを捨てず、頑張れば必ず道は開けると思えるようになり、心に余裕ができました。まさに禍福はあざなえる縄の如しとは私の人生そのものではないかと思えます。